

布マルチ米収穫

まずまずの実績

1. 里山倶楽部では今年初めて初馬地区の7畝(700平米)の田んぼで水稲布マルチ直播栽培(正式名称)俗称お布団農法にチャレンジしました。この田んぼはエコライフ研究会の会長米倉さんが有機農法でやられていたものでそれを借り受けました。
この田んぼはパイプラインが設置され、暗渠もあり水管理が容易な田んぼでした。
5月23日に布マルチを敷設しました。10月7日に稲刈り、天日干しし、10月22日に脱穀、24日に粃摺りをしました。結果270キロ(4俵半)の玄米の収穫となりました。
反収にすると4俵強ですので初陣にしては思いのほかの収穫でした。
2. まずまずの成果になった要因は布マルチを敷設する前に、代掻きを丁寧に行ってもらったおかげで田んぼが平たくなり、水を抜いたあと布マルチがうまく接地し、生えかけたヒエを物理的に押し倒し、ヒエの発生が抑えられたのではないかと思えます。多少ヒエが生えましたが除草に苦労することはありませんでした。
間断灌漑は一度しかやりませんでした。品種は倒伏を避けるために短茎種のマキタコシヒカリを使用しました。穂肥は7月29日菜種粕を撒きました。
3. 11月14日、雨模様の中でしたが「倉馬の里」集会室で豊作感謝祭をやりました。手伝ってもらった里山倶楽部のメンバーを中心に16名が集まり、「倉馬の里」で作った里芋コロッケと新米を肴に賑やかにビールを飲みました。
4. 今後5年くらい先を見通し圃場整理が進んでいる初馬地区で布マルチ稲作の普及に努めたいと考えております。農薬・化学肥料を使用する慣行農法から、布マルチ農法へ転換することにより農家には生産コストを償えるだけの価格を保証し、安全・安心を求める消費者にはリーズナブルな価格で提供できるような仕組みづくりを目指したいと願っております。(記 藤本将)

感謝祭報告

出来が悪かったら反省会のつもりで開催しました。雨の為、急遽集会場で行いました。新米のご飯を酒の肴にするのは初めてです。ご飯だけで味わっても違いが分かりました。



里芋のコロッケ・味噌汁もおいしかった。私的には最後のデザートも旨かったです。池上さん提供のサラダもゴマの匂いがして変わっていたオツカサ・鶉塚さんいつもありがとう！ (後藤記)